



浦小通信

知内町立浦元小学校
～重点教育目標～
主体的・対話的に学び、
自らを磨き、高め合う子
平成31年1月31日発行

テレビやゲームを消して、大人が本を手にとってみませんか。

～ 読書習慣の定着を目指して、10分間の家読を楽しむ ～

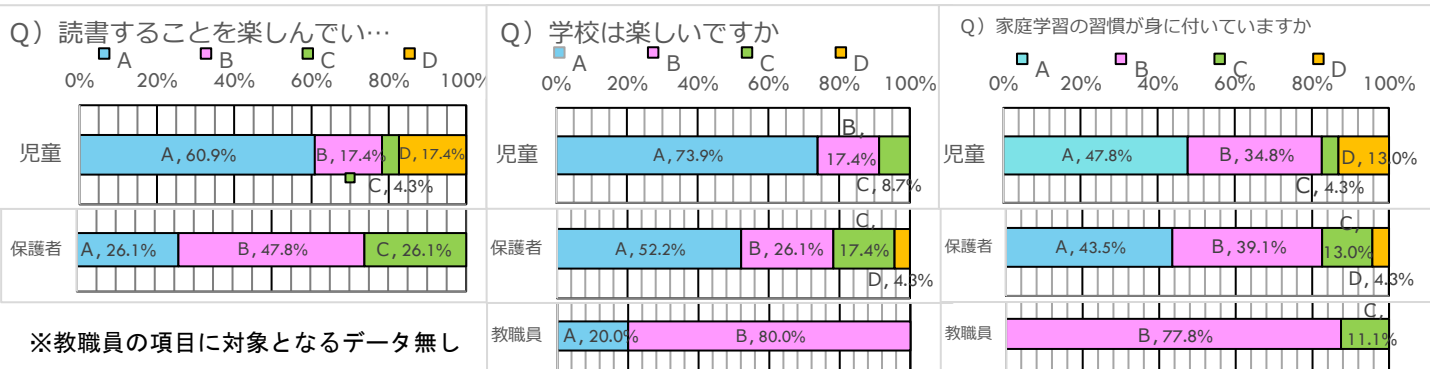
校長 三上 幸喜

学校生活のまとめである3学期が無事始まりました。全国的にはインフルエンザが大流行していますが、本校では全員元気に登校してくれました。3学期は登校日数が48日間と大変短い学期ですが、1年間のまとめの学期であり、新学年に向けての大切な準備の学期でもあります。病気やケガ、事故なく元気に学校生活を送ることができるように、教職員一同頑張っ参りますので、今後ともご協力をよろしくお願い致します。

さて、以下は2学期末に実施しました、児童・保護者・教職員アンケートの集計結果の一部です。読書習慣の定着に関わる評価では、昨年度に引き続き今年度も芳しくない結果となりました。

そこで、**1日10分間の家読**を提案したいと思います。合言葉は、『**ゲームやテレビを消して、大人が本を手にとってみませんか。**』です。家族みんなで、10分間の家読を楽しみませんか。

【児童・保護者・教職員アンケート調査の結果】 (凡例) A:とてもそうだ B:わりとそうだ C:あまりそうでない D:ぜんぜんそうでない



【読書によって育まれる力】

- ① **新しい知識が身につく**・・・読書をすることで新しい知識や知恵、伝統文化を吸収することができます。
- ② **文章力が向上する**・・・読書をすれば語彙力や表現方法を身につけることができます。
- ③ **本を読むスピードが速くなり、理解する力が向上します**
 - ・・・読書の効果の中で、本を読めば読むほど、本を読むスピードが上がるということです。知識が増えれば増えるほど、本で語られている内容の理解が早まります。理解力が身に付きます。
- ④ **色々な価値観に触れることができる**
 - ・・・例えば小説なんかの本を読むと色々な登場人物がいるので、登場人物一人一人の価値観にもふれることができます。自分の友達や周りの人の生き方や行動に共感もてるようになります。
- ⑤ **記憶力・情報処理の能力が上がる**
 - ・・・読書は、本に書いてある文字を読むことで、文字から情景をイメージすることになります。本の内容を文字から情景にイメージすることで、左脳から右脳に頻りに情報を転送するので、脳が活発に動き、脳が活性化します。

例えば多忙にもかかわらず、ビル・ゲイツ（マイクロソフト社元会長）は年間50冊の本を読み、マーク・ザッカーバーグ（フェイスブック社CEO）は2週間に1冊本を読むと宣言しています。最初は本を読むことが遅くて、諦めてしまうかもしれませんが、何十冊と頑張っ本を読んでいくと、**知らず知らずのうちに読書スピードが格段に向上し、書かれている内容をスムーズに理解できるようになっていきます。**